

令和2年第1回定例会会議録 2日目

◇ 招集年月日 令和2年3月11日

◇ 招集場所 松野町議場

◇ 招集議員 7名（応招 7名・不応招 0名）

◇ 出席議員

議席 番号	氏名	応 不	出 欠	議席 番号	氏名	応 不	出 欠
1	赤松紀幸	応	出	5	近藤由美子	応	出
2	村尾重利	〃	〃	6	森岡健治	〃	〃
3	山下智恵	〃	〃	7	加藤康幸	〃	〃
4	関本豊	〃	〃				

正・副議長	氏名
議長	赤松紀幸
副議長	村尾重利

事務局職員	氏名
事務局長	森本秀行
書記	岡崎智恵子

◇ 開 会

議長、令和2年第1回定例会第1日目を宣告（9：29）

◇ 会議録署名議員

議長、次の両議員を指名

議席番号	氏 名
2 番	村 尾 重 利
3 番	山 下 智 恵

◇ 会期の決定

表紙に記載のとおり

◇ 議事諸報告

(1) 提出案件及び議事日程

あらかじめ配布している議事日程のとおり

職 名	氏 名	職 名	氏 名
町 長	坂 本 浩	農 林 振 興 課 長	小 西 亨
副 町 長	中 井 慶 仁	会 計 管 理 者 兼 出 納 室 長	大 谷 吉 廣
教 育 長	三 好 秀 二	建 設 環 境 課 長	谷 口 健 二
総 務 課 長	八 十 島 温 夫	町 民 課 長	久 保 田 忠
防 災 安 全 課 長	成 川 良 洋	保 健 福 祉 課 長	上 本 恵 子
ふるさと創生課長	友 岡 純	教 育 課 長	井 上 靖

議	<p>長 これから、本日の会議を開きます。 (9:29)</p> <p>続いて、本日の議事日程を報告します。</p> <p>本日の議事日程は、あらかじめ配布しました議事日程表のとおりです。</p> <p>御承知をお願いします。</p> <p>次に、地方自治法第121条第1項の規定により、本日の会議に出席する者は、お手元に配布しております一覧表のとおりです。</p> <p>御承知をお願いします。</p>
議	<p>長 日程第1 「会議録署名議員の指名」を行います。</p> <p>本日の会議録署名議員は、会議規則第127条の規定によって、2番村尾重利議員、3番山下智恵議員を指名します。</p>
議	<p>長 日程第2 議案第12号「令和2年度松野町一般会計予算」以下、日程番号の順を追い、</p>
議	<p>長 日程第8 議案第18号「令和2年度松野町後期高齢者医療保険事業特別会計予算」までの7会計の当初予算を一括議題とします。</p> <p>これから、各会計に対する質疑を行います。昨日の本会議において、町長から全会計に対する提案理由並びに予算編成方針の説明、副町長から全会計にわたっての総括説明を受けておりますので、質疑は会計別に、総括して行いたいと思います。</p> <p>まず、議案第12号「令和2年度松野町一般会計予算」についての質疑を行います。</p>
2番村尾	<p>「議長2番」</p>
議	<p>長 「2番、村尾重利議員」</p>
2番村尾	<p>当初予算の基本方針の中で、町長のお考えが述べられておるわけですが、その中で、特に今その問題となっておりますし、皆さんが最も関心を持っておる問題が少子高齢化の問題ではないかなと思います。</p> <p>それで国のほうでも一億総活躍社会、人づくり革命、働き方改革といった、非常に何言うんですか早く言えば分りづらいということで、もう少しシンプルな政策があってもいいんじゃないかないう、ちよっ</p>

と現実的でないんじゃないかないう感じをするわけですが、今の現状の中では、この問題は避けて通れないということで、いろいろ予算の中を見ましても、細やかな取り組みがなされて、少しでも町民の期待に沿うように予算執行にあたっても、取り組むべきではないかなと思うんですが、それで先般、評論家の樋口恵子さんが、この愛媛新聞にお話になったことが出ておったわけですが、今はその少子化により家族や親族その血縁が減る中で、地域の中の他人同士が支え合わんと今後の社会は成り立ちにくいんじゃないかなということが言われております。

それで先ほども言いましたように、もうちょっとその辺の身近な問題、シンプルな問題を取り上げていく必要があるんじゃないかなと思うんですが、その辺について、町長のお考えをお尋ねしたらと思います。

坂本町長
議
坂本町長

「議長」

「坂本町長」

はい。

御指摘のとおり、松野町においても、人口の減少高齢化が進んでおりまして、地域の活力が徐々に低下しつつあるという状況は、これは否めないと思います。そういった中で、地域のコミュニティを大事にして、地域で自分たちで守っていくということが必要だと思います。

私、常々まちづくりの目標の1つに50年後も100年後も、町内の10部落が存続して、人々の暮らしが営々と引き継がれていくということを目指しているということを言っておりますけれども、そのためにも、地域の絆、御近所同士が助け合いながらこの地域を守っていく、それを行政が後押しする、支援をするということをしていきたいと思います。

昨年度から始めました地域づくり交付金という制度で、部落が自主的に自由な発想で使っていただく、いわゆる部落の運営資金を町が補助をするということも始めさせていただきました。

	<p>また、これまで国や県の補助事業に係らなかったところでも、本当に部落が困っていらっしやる、あるいは緊急を要するという事業に関しましては町単独で、そういった身近なインフラの整備に関する事業費も計上をさせていただきました。</p> <p>こういった住民が主役、地域が舞台といったまちづくりをですね、これからも予算の中で、表現化していきたいというふうに思っております。</p> <p>また個々の事業につきましては、改めて詳しく御説明する機会があると思いますので、私の基本的な考えは副議長さんと同様、地域でこの部落の中で、各部落の中でしっかりとコミュニティ活動を守っていく、そういう体制を作りたいというのは同感でございます。</p>
2 番 村 尾	「議長 2 番」
議	「2 番、村尾重利議員」
2 番 村 尾	<p>確かにそういったお考えのとおりの実態があると思うんですが、例えばこれまでは地域というのは大体稲作を中心にした経済がありまして、その稲作が、1つの鎧といいますか、結びつきの1つの大きな役割を果たしておったのではないかなと思います。例えて言いますと、その結い、それから水利組合があつて、やっぱり稲作をするのには地域が水利組合を作つて、貴重な水を守っていくということからふれあひも深まり、いろんなつながりが深まっていったということ、それから先ほども申し上げましたように、家族が多ございましたが、それが少子化によってもう核家族化が進んで1つの結びつきがなくなったということで、この先生がおっしゃるのには、今後は50キロ圏以内に親戚身内がおらない人が増えてくるのではないかとと言われております。確かにそのとおりでありまして、学校を巣立った子どもたちは、町を離れて全部遠隔地へ就職をするということで、なかなか地元に残つて活躍することができないということがあつたわけです。</p> <p>それでそういった1つの経済、それからその農業といいますかそういった根幹になるものが壊れてしまひまして、なかなか私らでもそう</p>

ですが、同じ真土の組に、私は真土の出身なのですが、住んでおっても知らない人がおってみたり、数ヶ月に1回しか話をするともなくなっておるわけです。

そういったことの、やはり地域の中でもう一度そういった姿があった良さを見直して、いろいろ取り組んでいく必要があるんじゃないかなと思うんです。

それで今いろんな自主的なボランティアの活動をなされておるわけですが、そういったことにもう少し配慮があってもいいんじゃないかなと思うんですが、その辺はどうでしょうか。

坂本町長
議 長
坂本町長

「議長」

「坂本町長」

はい。

日本は瑞穂の国と言われるように稲作米を中心に生業という部分だけではなく、生活とか文化とか歴史とかが成り立ってきたということはこれ周知のことだと思っております。

その1番の中心となる稲作米作りが今非常に危機的な状況にある。そして、それを基盤としていた地域の社会というものがやや衰退をしていっているというのは御指摘のとおりだと思います。そういった意味で、具体的にはですね、日本型直接払とか、そういったもので農地を守っていく、あるいは耕作放棄地を少しでも拡大を食いとめるということを、町だけでなく、県の御指導あるいは農協とか農林公社と連携をしながら進めていきたいというふうに思っております。

更に米づくりだけではなくてですね、御指摘のとおり、いろんな御近所のおつき合い、助け合いというものを、これからもしっかりと、そういった力が発揮できるように、行政としても支援をしていきたいと思っております。

一昨年の7月豪雨災害の時に、本当に松野町でも御近所同士で助け合うという、そういった動きが見えました。大変私も力強く思ったわけでございますけれども、あの時の気持ちをですね、常に皆さんに思

		<p>い起こしていただく、胸に抱いていただくように、そういった啓発も進めていきたいと思っております。</p> <p>以上です。</p>
2	番 村 尾	「議長2番」
議		「2番、村尾重利議員」
2	番 村 尾	はい分りました。
		やはり人間というのはその集団の中で、みんながそのぬくもりのある、心が通じて初めて生きがいとか、幸せいうのがあるのではないかなと思います。
		そういった意味で、是非ひとつもう1回いろんなその原点に戻って、まちづくりには是非取り組んでいただくよう要望しまして、私の質問を終わります。
議		答弁はいりません。
	長	これで、質疑を終わります。
		続いて、議案第13号「令和2年度松野町国民健康保険特別会計予算」についての質疑を行います。
議		(質疑 ～ なし)
	長	質疑なしと認めます。
		続いて、議案第14号「令和2年度松野町国民健康保険中央診療所特別会計予算」の質疑を行います。
議		(質疑 ～ なし)
	長	質疑なしと認めます。
		続いて、議案第15号「令和2年度松野町簡易水道特別会計予算」に対する質疑を行います。
議		(質疑 ～ なし)
	長	質疑なしと認めます。
		続いて、議案第16号「令和2年度松野町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算」に対する質疑を行います。
		(質疑 ～ なし)

議	長	<p>質疑なしと認めます。</p> <p>続いて、議案第17号「令和2年度松野町介護保険特別会計予算」に対する質疑を行います。</p> <p>(質疑 ～ なし)</p>
議	長	<p>質疑なしと認めます。</p> <p>最後に、議案第18号「令和2年度松野町後期高齢者医療保険事業特別会計予算」に対する質疑を行います。</p> <p>(質疑 ～ なし)</p>
議	長	<p>質疑なしと認めます。</p> <p>これで、当初予算7会計に対する質疑を終ります。</p> <p>お諮りします。</p> <p>ただいま議題となっております、議案第12号から議案第18号までの各案は、お手元に配布の議案付託表のとおり、それぞれ所管の常任委員会に付託したいと思います。</p> <p>御異議ありませんか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
議	長	<p>異議なしと認めます。</p> <p>したがって、議案第12号「令和2年度松野町一般会計予算」以下、議案番号の順を追い、議案第18号「令和2年度松野町後期高齢者医療保険事業特別会計予算」までの各案は、それぞれ所管の常任委員会に付託することに決定しました。</p>
議	長	<p>日程第9 議案第19号「松野町農業委員の選任について」を議題とします。</p> <p>議案書を配布します。</p> <p>しばらくお待ちください。</p> <p>町長に提案理由の説明を求めます。</p>
坂本町	長	「議長」
議	長	「坂本町長」
坂本町	長	それでは議案第19号「松野町農業委員の選任について」提案理由

議	<p>を御説明申し上げます。</p> <p>現在、松野町農業委員につきましては、1名の欠員が生じていることから、松野町農業委員会の委員の選任等に関する規則第8条の規定に基づきまして、補充の募集を行いました。その結果、委員候補者として、松丸山口賢三氏から応募をいただきましたので、農業委員会等に関する法律第8条第1項の規定により、同氏を委員として選任いたしたく、議会の同意をお願いするものでございます。</p> <p>よろしく御審議を賜り御同意いただきますようお願い申し上げます。</p> <p>お諮りします。</p> <p>本案は人事案件ですので、先例により、質疑討論を省略したいと思います。</p> <p>御異議ありませんか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
議	<p>異議なしと認めます。</p> <p>したがって、質疑討論を省略することに決定しました。</p> <p>これから、議案第19号を採決します。</p> <p>お諮りします。</p> <p>ただいま、議題となっております議案第19号について、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
議	<p>異議なしと認めます。</p> <p>したがって、議案第19号「松野町農業委員の選任について」は原案のとおり可決することに決定しました。</p> <p>以上で、本日の議事日程は全て終了しました。(9:47)</p> <p>本日は、これで散会します。(9:47)</p>